

## 戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）概要

戦略的情報通信研究開発推進事業（SCOPE）とは、情報通信技術（ICT）分野の研究開発における競争的資金です。総務省が定めた戦略的な重点研究開発目標を実現するために、ICTにおけるイノベーションの創出、研究者や研究機関における研究開発力の向上、世界をリードする知的財産の創出、国際標準を獲得することなどを目的として、独創性や新規性に富む課題の研究開発を委託する事業です。

### （1）ICT イノベーション創出型研究開発

国として今後取り組むべき現時点の課題を分類及び整理した「研究開発戦略マップ」において、イノベーションを創出する独創性や新規性に富む研究開発課題の提案に対して研究開発を委託

### （2）若手 ICT 研究者等育成型研究開発

ICT 分野の研究者として次世代を担う若手人材を育成することや、中小企業の斬新な技術を発掘するために、若手研究者又は中小企業の研究者（個人又はグループ）が提案する研究開発課題に対して研究開発を委託

### （3）電波有効利用促進型研究開発

電波の有効利用をより一層推進する観点から、新たなニーズに対応した無線技術をタイムリーに実現するとともに、電波利用環境を保護するための技術の研究開発課題に対して研究開発を委託

#### ① 先進的電波有効利用型

電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発課題を公募

#### ② 若手ワイヤレス研究者等育成型

若手 ICT 研究者等育成型研究開発に定める若手研究者又は中小企業の要件に該当する研究者が提案する電波の有効利用に資する先進的かつ独創的な研究開発課題を公募

### （4）先進的通信アプリケーション開発推進型研究開発

経路制御、帯域制御等のネットワークの柔軟な設定・運用を実現する「新世代ネットワーク」の機能を用いた先進的な通信アプリケーションを実現する開発課題を委託

### （5）国際連携型研究開発

研究成果の国際標準化や実用化を加速し、さらなるイノベーションの創出や我が国の国際競争力の強化、国民生活や社会経済の安全性・信頼性の向上等に資することを目的として、外国の研究機関と共同で研究開発を実施する日本の研究機関に対して研究開発を委託

### （6）地域 ICT 振興型研究開発

ICT の利活用によって地域貢献や地域社会の活性化を図るために、地域に密着した大学や、地域の中小・中堅企業等に所属する研究者が提案する研究開発課題に対して研究開発を委託

## 各プログラムの概要

プログラム名	研究期間	単年度研究費（上限） （間接経費は別途配布）
ICT イノベーション創出型研究開発	フェーズⅠ：1か年度(※) フェーズⅡ：最長2か年度	フェーズⅠ： 500万円 フェーズⅡ：3,000万円
若手 ICT 研究者等育成型研究開発	フェーズⅠ：1か年度(※) フェーズⅡ：最長2か年度	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ：1,000万円
電波有効利用促進型研究開発		
先進的電波有効利用型	フェーズⅠ：1か年度 フェーズⅡ：最長2か年度	フェーズⅠ： 500万円 フェーズⅡ：3,000万円
若手ワイヤレス研究者等育成型	フェーズⅠ：1か年度(※) フェーズⅡ：最長2か年度	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ：1,000万円
先進的通信アプリケーション開発推進型研究開発		
タイプⅠ（民間企業対象）	1か年度	4,000万円
タイプⅡ（大学及び中小企業対象）	フェーズⅠ：1か年度 フェーズⅡ：1か年度	1,000万円 4,000万円
国際連携型研究開発	最長3か年度	7,500万円（間接経費含む）
地域 ICT 振興型研究開発	フェーズⅠ：1か年度(※) フェーズⅡ：最長2か年度	フェーズⅠ： 300万円 フェーズⅡ：1,000万円

(※)公募対象はフェーズⅠのみとなります。フェーズⅡの公募はできません。

